

【4段階評価】 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
				指標別	総合	
知	学業指導の徹底と生徒の主体的な授業の実践（活用型の授業の推進、授業評価）	Q - U検査学習意欲点15以上の生徒が70%以上	・ Q - Uの結果を活用した学習指導を行う。	4	3	全学年で70%以上を達成できた。 ・ Q Uの結果に基づいた学級づくりができています。 ----- 全学年平均が79%で目標を達成できた。 ・ 1, 3年生は80%以上。2年生が68%であり、今後指導方法の改善を図っていきたい。 ----- 全学年で70%以上を達成できた。 ・ 電子黒板を活用した授業が定着してきた。デジタル教科書も有効活用している。 ----- 全学年とも目標時間を達成することができなかった。 ・ 家庭学習の平均時間は、1年生73分、2年生93分、3年生97分であった。学級懇談で結果を保護者に示し、家庭学習の充実を図っていきたい。
		学校独自の調査（授業評価）の理解度の項目で「4」「5」の生徒が70%以上	・ 基礎基本を身に付けさせる指導を行う。	4		
	ICTの活用など生徒がわかる授業の実践	学校独自の調査（授業評価）のICTの活用項目で「4」「5」の生徒が70%以上	・ ICTを活用し、学力の定着を図る。 ・ 「もっと学び、もっと伸ばし」を改善し、活用する。	4		
	家庭学習の習慣化と充実（家庭との連携）	家庭学習が、1年は100分、2・3年は2時間以上の生徒が70%以上	・ 学習委員会を中心に生徒の意識を変えていく活動を実践する。 ・ 定期テストでの学習計画を指導する。 ・ 家庭学習スタンプを活用し、家庭との連携を深める。	1		
徳	望ましい学級集団づくり（Q - U検査）	2回目のQ-U検査においてすべての学級が、学級生活満足群に所属する生徒の全国平均値（35%）以上	・ S S T及びライオンズクエストの効果的な実践を図る。	4	4	全学級とも全国平均値（35%）を大きく上回り、学校平均70%であった。 ・ 夏季休業中の職員研修の成果が表れたと考えられる。 ----- 全学級とも全国平均値（15点）を上回り、学校平均18.7であった。 ・ 道徳の時間を中心に思いやりの心が育まれている。 ----- 全学年とも3.0以上で、学校平均3.2であった。 ・ 地域の行事（夏まつり、どんど焼き）等への多くの生徒が参加し、地域への愛着が育っている。
	生徒と向き合う時間の確保と思いやりの心の育成（いじめ撲滅）	2回目のQ - U検査においてすべての学級が、友人関係得点の全国平均値（15点）以上	・ 道徳の時間の充実を図る。 ・ 人権教育、性教育の充実を図る。	4		
	生徒会活動の充実と地域に貢献できる活動の推進（ふるさとを愛する心の育成）	保護者アンケート（4段階評価）で、3.0以上	・ 組織的な対応により生徒を支援する。 ・ 保護者や地域、関係諸機関と連携する。	4		
体	基礎体力や運動能力の向上	新体力テストにおいて、全学年6種目以上で県平均を上回る。	・ 準備運動で基礎体力向上のメニューを取り入れる。	2	3	1年生の女子のみ7種目県平均を上回った。 ・ 2年生男女、3年生男子は5種目、1年生男子、3年生女子3種目上回った。体力向上を更に推進していきたい。 ----- 2月現在で、虫歯治療率64%である。 ・ 1年生56%、2年生77%、3年生66%である。1年生が目標を達成できていない。虫歯治療推進集会を実施し、虫歯治療を促している。
	健康的な生活習慣の育成と立腰指導	むし歯治療率60%以上	・ 歯科保険啓発標語コンクールを募集する。 ・ 治療勧告書の適宜配布を行う。 ・ 医療兼の利用を促進する。	4		
食	年間を通して給食残食ゼロ、朝食をとらない生徒ゼロ	全ての学級が年間を通して残食0	・ 給食委員会による残食調査を計画的に実施する。 ・ 調査の結果を掲示して、啓発する。	4	3	3年生の1クラス以外は、残食0を達成できた。 ・ 日頃からの食に対する指導の効果である。 ----- 3年生男子1名、1年生女子1名が時々朝食を取らない状況である。・ 養護教諭が継続的に相談に関わっている。 ----- 年間3回の弁当の日を実施した。 ・ 2年生の総合的な学習の時間に、給食センターの管理栄養士を講師に招き、弁当づくりを学習することができた。
		朝食抜きの間年のべ0人	・ 生活アンケートの実施、分析する。 ・ 啓発ポスターを掲示する。	3		
	「弁当の日」の充実	弁当の日を3回以上実施	・ 弁当の日の実施と結果を保護者に発信し、啓発する。	3		

次年度の方向性についての校長所見	小中一貫教育を推進しながら、低い傾向にある項目については、小学校と一貫した取組を工夫・改善し、保護者の協力が得られるような啓発や具体的な取組を行いたい。
------------------	--